Governance

会長メッセージ

現代社会において、企業が持続的に企業価値を高めていくためには、単なる営利の追求のみではなく、株主、顧客、従業員、地域社会、さらには世界における社会的要請に も視野を広げて、幅広いステークホルダーの幸せの向上に寄与することが求められています。

カーボンニュートラルの実現や環境保全などのサステナビリティの追求、ダイバーシティや健康経営の推進、人権の尊重や安全の確保などは、今や企業が存続していくための最低条件となっています。

当社は、2030年度を目標とする新たな経営計画である「Mission 2030」を2023年度からスタートしました。そのベースとなる「新たなビジョン」において、コアバリューとして「挑戦」「誠実」「共感」を、パーパスとして「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストとなる」ことを掲げ、これらの社会的要請にしっかり応えていくことを目指しています。ESG経営の追求と、中期的にはSDGsの達成が、経営計画「Mission 2030」に織り込まれた非財務目標の根幹となります。

当社は、近年ガバナンス体制の強化に向けて様々な施策を重ねてまいりました。取締役会のコンパクト化と社外役員比率の拡大、スキルマトリックスの導入、監査等委員会制度導入による監督機能の一層の強化、役員報酬制度の見直しによる当事者意識の向上など、社会の変化に的確に対応するべく、常に一歩前を行く改革を実施しております。

経営計画「Mission 2030」の推進を通じて、経営陣が上に述べた社会的要請の実現に向けた活動に邁進できるように、取締役会の一層の活性化による監督・助言機能の 実効性向上と意思決定の迅速化などコーポレートガバナンスの更なる高度化により、今後ともデンカグループの持続的な企業価値増大に貢献してまいります。



取締役会長 やま もと まな

■コーポレートガバナンス体制図

